

## 三位一体主日・聖霊降臨後第1主日特禱

永遠にいます全能の神よ、あなたは僕らに恵みを与え、まことの信仰をもって、栄光ある三位一体の神をあがめることができるようにしてくださいました。どうかこの信仰に堅く立って生き、すべての災いに打ち勝つことができますように、父と聖霊と共に一体であって世々にいき支配しておられる主イエス・キリストによってお願いいたします。 **アーメン**

## 旧約聖書 イザヤ書 6章1-8節

1 ウジヤ王が死んだ年のことである。わたしは、高く天にある御座に主が座しておられるのを見た。衣の裾は神殿いっぱい広がっていた。2 上の方にはセラフィムがいて、それぞれ六つの翼を持ち、二つをもって顔を覆い、二つをもって足を覆い、二つをもって飛び交っていた。3 彼らは互いに呼び交わし、唱えた。「聖なる、聖なる、聖なる万軍の主。

主の栄光は、地をすべて覆う。」4 この呼び交わす声によって、神殿の入り口の敷居は揺れ動き、神殿は煙に満たされた。5 わたしは言った。「災いだ。わたしは滅ぼされる。わたしは汚れた唇の者。汚れた唇の民の中に住む者。しかも、わたしの目は王なる万軍の主を仰ぎ見た。」

6 するとセラフィムのひとりが、わたしのところに飛んで来た。その手には祭壇から火鉢で取った炭火があった。7 彼はわたしの口に火を触れさせて言った。「見よ、これがあなたの唇に触れたのであなたの咎は取り去られ、罪は赦された。」8 そのとき、わたしは主の御声を聞いた。「誰を遣わすべきか。誰が我々に代わって行くだろうか。」わたしは言った。「わたしがここにおります。わたしを遣わしてください。」

## 詩 編 第29編

- 1 神の子らよ、主をほめよ // 栄えと力は主のもの
- 2 神の名をほめたたえよ // 聖なる装いをもって主を拝め
- 3 主の声は水の上に // 主は大水の上に雷鳴をとどろかせる
- 4 主の声には力があり // その響きには威厳がある
- 5 主の声は杉の木を撃ち // 主はレバノンの杉を引き裂く
- 6 神の声はレバノンを子牛のように // シリオンを野牛のように踊らせる
- 7 主の声は稲妻を放ち // 荒れ野を震わせ、カデシの荒れ野をおびえさせる
- 8 主の声はかしの木をねじり倒し、森の木々を裸にする // すべてのものは神の住まいでその栄光をたたえる
- 9 主は大水の上に座り // 主はとこしえに王座に着かれる
- 10 主はその民に力を与え // 平和をもって祝福される

## 使徒書 ヨハネの黙示録 4章1-11節

1 その後、わたしが見ていると、見よ、開かれた門が天にあった。そして、ラッパが響くようにわたしに語りかけるのが聞こえた、あの最初の声があった。「ここへ上って来

い。この後必ず起こることをあなたに示そう。」 2 わたしは、たちまち“霊”に満たされた。すると、見よ、天に玉座が設けられていて、その玉座の上に座っている方がおられた。 3 その方は、碧玉や赤めのうのようであり、玉座の周りにはエメラルドのような虹が輝いていた。 4 また、玉座の周りに二十四の座があって、それらの座の上には白い衣を着て、頭に金の冠をかぶった二十四人の長老が座っていた。 5 玉座からは、稲妻、さまざまな音、雷が起こった。また、玉座の前には、七つのともし火が燃えていた。これは神の七つの霊である。 6 また、玉座の前は、水晶に似たガラスの海のようにであった。

この玉座の中央とその周りに四つの生き物がいたが、前にも後ろにも一面に目があった。 7 第一の生き物は獅子のようであり、第二の生き物は若い雄牛のようで、第三の生き物は人間のような顔を持ち、第四の生き物は空を飛ぶ鷲のようであった。 8 この四つの生き物には、それぞれ六つの翼があり、その周りにも内側にも、一面に目があった。彼らは、昼も夜も絶え間なく言い続けた。

「聖なるかな、聖なるかな、聖なるかな、全能者である神、主、かつておられ、今おられ、やがて来られる方。」

9 玉座に座っておられ、世々限りなく生きておられる方に、これらの生き物が、栄光と誉れをたたえて感謝をささげると、 10 二十四人の長老は、玉座に着いておられる方の前にひれ伏して、世々限りなく生きておられる方を礼拝し、自分たちの冠を玉座の前に投げ出して言った。

11 「主よ、わたしたちの神よ、あなたこそ、栄光と誉れと力とを受けるにふさわしい方。あなたは万物を造られ、御心によって万物は存在し、また創造されたからです。」

## 福音書 ヨハネによる福音書 16 章 《5-11》, 12-15 節

《5 今わたしは、わたしをお遣わしになった方のもとに行こうとしているが、あなたがたはだれも、『どこへ行くのか』と尋ねない。 6 むしろ、わたしがこれらのことを話したので、あなたがたの心は悲しみで満たされている。 7 しかし、実を言うと、わたしが去って行くのは、あなたがたのためになる。わたしが去って行かなければ、弁護者はあなたがたのところに来ないからである。わたしが行けば、弁護者をあなたがたのところへ送る。 8 その方が来れば、罪について、義について、また、裁きについて、世の誤りを明らかにする。 9 罪についてとは、彼らがわたしを信じないこと、 10 義についてとは、わたしが父のもとに行き、あなたがたがもはやわたしを見なくなること、 11 また、裁きについてとは、この世の支配者が断罪されることである。》

12 言っておきたいことは、まだたくさんあるが、今、あなたがたには理解できない。 13 しかし、その方、すなわち、真理の霊が来ると、あなたがたを導いて真理をことごとく悟らせる。その方は、自分から語るのではなく、聞いたことを語り、また、これから起こることをあなたがたに告げるからである。 14 その方はわたしに栄光を与える。わたしのものを受けて、あなたがたに告げるからである。 15 父が持つておられるものはすべて、わたしのものである。だから、わたしは、『その方がわたしのものを受けて、あなたがたに告げる』と言ったのである。」